

第24回・第25回  
東京女子医科大学病院  
がん診療に携わる医師のための  
緩和ケア研修会

**Schedule** 第24回  
平成29年2月11日(土)・12日(日)  
第25回  
平成29年3月25日(土)・26日(日)

**Place** 東京女子医科大学内

**Other info**

参加費：2,000円  
(1日目の軽食と2日目の昼食代金として)  
詳細と申し込み方法は、12月頃に当院がんセンターHPに掲載させていただきます。

第2回  
日本循環器学会関東甲信越支部  
心肺蘇生法 市民公開講座

**Thema** 「生活習慣病から心臓突然死を予防する」



**Schedule** 平成28年12月4日(日)  
13:00～16:00

**Place** JPタワー ホール&カンファレンス

**Other info** 詳細は当院ホームページをご覧ください。  
事前申込み先：第2回心肺蘇生法 市民公開講座事務局 (☎03-3508-1237)

からだ情報館



総合外来センター1階にある「からだ情報館」は、病気やからだをはじめとしたさまざまな情報を自主的に調べ、学ぶことができる場所としてご利用頂いております。

上写真は、その一角にあるがんサロン「すまいる」で定期的に開催しているミニレクチャーです。「化学療法の副作用対策」等の医療情報や、「ウィッグ」「爪のケア」「栄養情報」等の生活編など定期的にプログラムを組み患者さんの支援をさせて頂いております。是非、当院がんセンターのホームページをご覧ください。

医療機関からのご予約

☎ 03-5269-7160

☎ 03-5269-7387

受付時間：平日 午前9時～午後5時

休診日：第3土曜・日曜・祝日、  
創立記念日(12/5)、  
年末年始(12/30～1/4)

※ 当院ホームページ「医療関係者の方へ」  
のFAX申込書をご活用ください。

# 女子医大便り

2016年秋号

TOPIC 01\_院内コンサート 02\_新任教授挨拶/当院の医療安全の取り組み 03\_教育・研究棟の紹介 04\_研修会・講演会紹介/からだ情報館の紹介

院内  
コンサート



東京女子医科大学3年  
遠藤彩果

室内楽団は年に2回、夏と冬に女子医大病院の総合外来センター入口で院内コンサートを行っております。気持ちが暗くなりがちな入院生活において、音楽の力で患者さんと患者さんを支えるご家族が少しでも明るくなり、前向きになればという想いで、部員一同心をこめて練習に励んでいる、大切な演奏会の一つです。

このように院内コンサートを開催するにあたりましては、点滴が必要な患者さんや歩行が困難な患者

さんを会場まで誘導して下さる看護師の方々をはじめ、会場設備から患者さんの誘導まで幅広くお手伝いをして下さるボランティアの方など、様々な方のご協力をいただいております。

写真は今年度のサマーコンサートのものです。次回は、12月17日(土)15時よりクリスマスコンサートを予定しております。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

## 📣 新任教授ごあいさつ



医療安全科  
寺崎 仁

新設された医療安全科の教授に、この7月から着任しております。前職は横浜市立大学で、医療安全を専門として附属市民総合医療センターに8年間在籍していました。東京女子医大では、大学病院に今後義務付けられる「医療安全担当の専従医師」という位置づけで、医療安全管理の現場実務と後進の指導・育成を担うこととなります。医療安全に関しては、東京女子医大が乗り越えなければならない課題が山積していますが、現場職員の頑張りや仕事に向き合う姿勢などには、既に幾度も頭の下がる思いをしております。必ずや、「医療安全」が東京女子医大の新たなブランドになるよう、今後取り組みますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

## 🔗 当院の医療安全の取り組み

東京女子医大病院には、医療安全の専門部署として「医療安全対策室」を設置しています。専従・専任スタッフは、医師2名、薬剤師1名、看護師4名、臨床工学技士1名、それに事務4名、計12名が在籍しています。このうち医師と薬剤師は、今年度から専従者を配置しており、この10月には新たに臨床工学技士も加わるなど、半年間で体制の強化が急速に進みました。それ以外にも兼務の職員がいて、組織体制としてはかなりの人数を配置していますが、女子医大で行われているハイリスクな医療をカバーするにはまだ不十分かもしれません。

さて、医療安全対策室の日ごとの活動ですが、まずはインシデント報告の内容点検に時間を割いています。最近ではレポートが積極的に報告されるようになり、特に医師からの報告が10%前後を占め、安全意識が医療現場に浸透しつつあります。そして、事例の内容によっては事実確認や再発防止策の検討などを、現場主体で取り組むことを促しており、安全対策室はそれをフォローする役割を担っています。また、定期的に現場巡視も行っており、医療安全面から各部署の状況確認と共に、現場スタッフとのコミュニケーションを図り、安全に関する課題や意識の共有に努めています。

医療安全対策室 医療安全管理者  
寺崎 仁



医療安全対策室の専従・専任のスタッフ



医療安全対策室のスタッフによる  
院内ラウンドの様子

## 🏢 教育・研究棟の紹介



皮膚科学 教授・講座主任  
川島 眞

画像診断学・核医学 教授・講座主任  
坂井 修二



- 5F 講座主任室 & カンファレンス室
- 4F 医局 & 教室
- 3F 医局 & カンファレンス室
- 2F 医局 & カンファレンス室
- 1F 医局 & 更衣室 & カンフェレンス室

連絡通路

この度、竣工した教育・研究棟は、旧別館跡地に地上5階、延べ面積3,990.16㎡で、1階は更衣室と医局ゾーン、2階、3階は医局ゾーン、4階は教室と医局ゾーン、5階は講座主任室を配置し、カンファレンス室も多く設けております。3階では女子医大通りを横切る地上通路と連絡しており、中央病棟にも総合外来センターや第一病棟にもアクセスしやすくなっています。



医局は総合医局の形式を取り、診療科間の壁はなくなりました。これには、学内組織間の横の繋がりが希薄にならないよう、風通しを良くしようとの意図がありました。そのため既に総合医局を取り入れている他大学や八千代医療センターを参考にさせていただきました。

システムとしても、職員証は入館証と一体化したICカードとし、共用複合機の利用もICカードにて管理する等、利便性の向上を図りました。また、非常勤講師の先生方が来られた際、ラウンジにてインターネットにアクセスし、検索や講義の準備ができることも可能としました。そして、各フロアーには休憩室を設け、職員の憩いのスペースも確保いたしました。

